

水根沢谷沢登り山行報告書

(山域) 奥多摩 多摩川水系 水根沢谷
(コース) キャンプ場 (駐車場): 入渓～二股～キャンプ場 (駐車場)
(日時) 8月13日 (土曜日)
(天候) 曇りのち晴れ
(参加者) CL: 内堀 (記録)・小宮山・宮城
(山行タイム) キャンプ場 7:05～二股 10:05～キャンプ場 11:45
(山行報告)

8/11 軍刀利沢では当日出発したため、入渓が遅れてしまったため、前夜発移動して今回は私の車にて、小宮山宅・宮城宅を経由して湾岸線・首都高に入ったが、やはり、西新宿手前で事故渋滞に巻き込まれ、ノロノロ運転で焼く1時間のオーバで八王子ICを抜け、奥多摩水と緑のふれあい館に向かうが、ここの駐車場についた時は駐車場が8割近くが埋まっていた。

マット等を引いて、空を観測しているようである。中には天体望遠鏡にて天体観測していた。まづい時にきたものだと思いながら、テントを張り、軽く宴会をして就寝した。

翌朝 6:00 頃起床して、お湯を沸かし朝食を取り出発準備する。時間が早いため、水根沢キャンプ場まで車を走らせ、ここにある駐車場に止めた。4-5 台程度駐車出来るでしょうか。

ここで、沢に入る準備をする。準備後、即入渓点を見つけ沢に向かう。

ゴルジェを進むとCS滝左側をへつり無事通過する。その先の中央突破で進む。びしょ濡れである。女子二人はガンガン進む。元気である。その先のゴルジェ先の半円の滝では巻かず、泳いで取付き、突っ張りで上がり通過する。前回来た時は巻いて、懸垂下降で降りたなと思った。女子二人はガイド本が突っ張りで上がる写真が出ており、この通りしたかったようである。頑張るな。濡れても平気。二人とも水泳部で泳ぎが得意なためかなと思いながら、通過後は左岸を登る。時間を見ると早い。この先は鉄砲滝も果敢に攻め無事通過。ほとんど中央から進む。体がだんだん寒くなってきた。水に入るのは、もう良いかなと思いながら進むと、スラブ滝があり中央突破で進み全身びしょ濡れになる。最後の最後に来てのびしょ濡れとは？

半円の滝・最後のスラブ滝ともう一箇所ロープを出した記憶が、既に忘れていた部分が沢山あり、次は早めに書きたい物だと思う。ロープを出す際は小宮山さん特攻隊長になり進む。スラブ滝後は二股が出てきて、右側に登山道の延長があり、本日ここで終了。

二股で沢道具を片付け、軽い行動食を頂き、登山道を登り、危ない所もなく1時間程度でキャンプ場に戻ってきた。早いね。前回来た時は水の臭いが強く、濁っていた様であったが、今回は水が澄み切っており、臭いもない。今回水の中に入る事が出来た事は嬉しい限りである。

キャンプ場から車で、もえぎの湯に向かう。12 時前なのに込んでいる。もう少し遅いと順番待ちになる所であった。入浴後は昼食を食べて一路、千葉を目指す。

千葉の途中のスーパーで買出しを行い、小宮山宅で私の手料理を作りマッターホルン登頂報告会をPCを見ながら行った。女子二人は日本でもスイスでも元気な姿があり、パワー全開である。当面引っ張られる私であることは間違いなさそうである。



